

## **IV 使用した調査票**



# 令和4年度(第53回) 県政世論調査

令和4年8月

調査委託者 富山県知事政策局広報課  
調査受託者 株式会社ラックス



## 世論調査のお願いについて

この調査は、県民のみなさんが日頃の生活の中で感じていらっしゃることや、県の仕事についてどのようなご意見、あるいはご要望を持っておられるかをお伺いして、今後の県の政策に役立てることを目的としています。

あなたを対象として選ばせていただいたのは、クジ引式による統計的な方法によったものです。この調査でお聞きしたことを、他の目的に使ったり、個人の名前を出したりすることは絶対にありませんので、ぜひご協力をお願いいたします。

調査対象者ご自身をご記入いただきますようお願いいたします。

どちらかを選び、ご回答ください。

### ①本調査票の郵送によりお答えいただく方

⇒次ページよりお答えください。

- ・本紙へ直接ご記入ください。
- ・該当する回答の数字を○で囲んでください。
- ・回答が終わりましたら同梱の返信用封筒に入れ、ご投函ください。  
(切手不要です。)

### ②インターネットでお答えいただく方

- ・下記のQRコードもしくは、下記サイトよりお入りください。
- ・利用者IDを必ずご入力ください。  
※IDは右上5桁の番号です。



(下記サイトURL)

<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/xjMlrFt5>

※利用者IDは、インターネット回答を利用される際に必要です。また、郵送回答とインターネット回答の重複がないか確認するために使います。

回答の〆切は

令和4年8月26日(金) です。

【調査全般について】 富山県知事政策局広報課 県民の声係まで  
TEL 076-444-8909 FAX 076-444-3478  
メール akoho@pref.toyama.lg.jp



【次に、県政全般についてお聞きします】



<政策の満足度について>

問 1 あなたは県の政策に対してどの程度満足していますか。以下の項目それぞれについて、右の欄の1～5の中からあなたの満足度合いに最も近いものを1つ選んでください。

1	2	3	4	5
満足している	どちらかという ええ	どちらともい えない	どちらかとい ええ	不満である

<経済対策・産業振興など>

1	景気対策(物価高騰対策などを含む)	1	2	3	4	5
2	新たな成長産業の育成	1	2	3	4	5
3	産学官連携によるものづくり産業の振興	1	2	3	4	5
4	未来を拓く起業チャレンジへの支援	1	2	3	4	5
5	企業立地の促進	1	2	3	4	5
6	中小企業の振興	1	2	3	4	5
7	デザインの振興と活用	1	2	3	4	5
8	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	1	2	3	4	5
9	環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進	1	2	3	4	5
10	雇用の確保と人材の育成	1	2	3	4	5
11	農業生産の振興	1	2	3	4	5
12	森林の整備と林業の振興	1	2	3	4	5
13	水産業の振興	1	2	3	4	5
14	北陸新幹線の整備促進	1	2	3	4	5
15	新幹線駅を核とした交流拠点づくり	1	2	3	4	5
16	利便性の高い道路ネットワークの整備	1	2	3	4	5
17	空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成	1	2	3	4	5
18	情報通信基盤の充実と活用	1	2	3	4	5
19	選ばれ続ける観光地づくり	1	2	3	4	5
20	快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	1	2	3	4	5
21	中心市街地の賑わいの創出	1	2	3	4	5
22	国際観光の推進	1	2	3	4	5
23	富山のブランド力アップ	1	2	3	4	5

	1	2	3	4	5
	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらともい えない	不満である どちらかとい えば	不満である
<b>&lt;少子化対策・地域づくりなど&gt;</b>					
24 出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援 . . . . .	1	2	3	4	5
25 子育て支援 . . . . .	1	2	3	4	5
26 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成 . . . . .	1	2	3	4	5
27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進 . . .	1	2	3	4	5
28 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進	1	2	3	4	5
29 大学教育・学術研究・科学技術の振興 . . . . .	1	2	3	4	5
30 生涯をとおした学びの推進 . . . . .	1	2	3	4	5
31 ふるさとを学び楽しむ環境づくり . . . . .	1	2	3	4	5
32 芸術文化の振興 . . . . .	1	2	3	4	5
33 スポーツの振興 . . . . .	1	2	3	4	5
34 社会貢献活動の推進 . . . . .	1	2	3	4	5
35 若者の自立促進とチャレンジ支援 . . . . .	1	2	3	4	5
36 男女共同参画の推進 . . . . .	1	2	3	4	5
37 元気な高齢者の活躍の場の拡大 . . . . .	1	2	3	4	5
38 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成 . . . . .	1	2	3	4	5
39 国際社会における地域づくり・人づくり . . . . .	1	2	3	4	5
40 交流人口の拡大、定住・半定住の促進 . . . . .	1	2	3	4	5
41 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見 . . .	1	2	3	4	5
42 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり . . . . .	1	2	3	4	5
43 農山漁村の活性化 . . . . .	1	2	3	4	5
44 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり . . . . .	1	2	3	4	5
<b>&lt;医療福祉、環境保全、防災対策など&gt;</b>					
45 地域総合福祉の推進 . . . . .	1	2	3	4	5
46 医療提供体制の充実 . . . . .	1	2	3	4	5
47 健康づくりと疾病対策の推進 . . . . .	1	2	3	4	5
48 高齢者福祉の充実 . . . . .	1	2	3	4	5
49 障害者福祉の充実 . . . . .	1	2	3	4	5
50 食の安全確保と地産地消・食育の推進 . . . . .	1	2	3	4	5
51 循環型社会と低炭素社会づくりの推進 . . . . .	1	2	3	4	5
52 自然環境の保全 . . . . .	1	2	3	4	5
53 生活環境の保全 . . . . .	1	2	3	4	5
54 水資源の保全と活用 . . . . .	1	2	3	4	5



	1	2	3	4	5
	満足している	どちらかといえ ば	どちらともい えない	不満である といえ ば	不満である
55 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保 . . .	1	2	3	4	5
56 県土保全の推進 . . . . .	1	2	3	4	5
57 防災・危機管理体制の充実 . . . . .	1	2	3	4	5
58 地震防災対策の充実 . . . . .	1	2	3	4	5
59 雪に強いまちづくり . . . . .	1	2	3	4	5
60 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり . . .	1	2	3	4	5
61 生活交通の確保 . . . . .	1	2	3	4	5
62 住環境の整備 . . . . .	1	2	3	4	5
63 消費生活の安全の確保 . . . . .	1	2	3	4	5

<人材の育成>

64 <input type="checkbox"/> 子ども 富山県や日本を担う子どもの育成 . . . . .	1	2	3	4	5
65 <input type="checkbox"/> 若者 若者の成長と自立、起業の支援、社会参加の促進 . .	1	2	3	4	5
66 <input type="checkbox"/> 女性 女性の活躍とチャレンジへの支援 . . . . .	1	2	3	4	5
67 <input type="checkbox"/> 働き盛り すべての人が活躍できる環境づくり . . . . .	1	2	3	4	5
68 <input type="checkbox"/> 高齢者 エイジレス社会の実現 . . . . .	1	2	3	4	5

<県政運営>

69 オープンで分かりやすい県政 . . . . .	1	2	3	4	5
70 県民の自立と幸せを重視する県政 . . . . .	1	2	3	4	5
71 スピード重視の県政 . . . . .	1	2	3	4	5
72 現場重視で効率的な県政 . . . . .	1	2	3	4	5
73 市町村、地域の自立と支援 . . . . .	1	2	3	4	5

<県政への要望について>

問2 問1の項目の1番～68番のうち（※69番～73番の<県政運営>は除きます）、いま、あなたがもっと力を入れてほしいと思っている県の政策はどれですか。5つ以内で選んでください。（下記の枠内に番号を記載してください。）

--	--	--	--	--

【次に、個別の施策についてお聞きします】



＜ウェルビーイングについて＞

令和4年2月に策定した「富山県成長戦略」では、「幸せ人口1000万～ウェルビーイング先進地域、富山～」をビジョンとして掲げ、ウェルビーイング向上のための施策を実施することとしています。

問3 ウェルビーイングについてご存知か教えてください。

1. 言葉も意味も知っている
2. 言葉は知っているが、意味は知らない
3. 言葉も意味も知らない

問3-1 問3で、「1. 言葉も意味も知っている」と回答した方にお尋ねします。ウェルビーイングを知った主なきっかけを3つ以内で選んでください。

1. 新聞や雑誌、テレビなどの媒体
2. ホームページ（ウェブサイト）・SNS
3. 県のホームページ
4. 国の報告書等
5. 民間研究機関等の報告書等
6. 学校（授業）での取組み
7. 職場・仕事での取組み
8. 民間企業や各種団体での取組み（シンポジウム等）
9. その他（ ）



### <カーボンニュートラルの推進について>

国は、2020年10月に「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロ※にする、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

県でも、国に先駆け、2020年3月に「とやまゼロカーボン推進宣言」を行い、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロ※にすることを目標に掲げています。

その実現に向けては、県民一人ひとりが近い未来の目標を認識し、省エネルギーの推進に取り組むとともに、再生可能エネルギーを最大限導入していくことが重要です。

カーボンニュートラルの推進に関して、以下の質問にお答えください。

※「排出を全体としてゼロ」「実質ゼロ」とは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて実質的な排出量をゼロにすることを意味しています。

問4 あなたは、カーボンニュートラルについて関心がありますか。

次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. 非常に関心がある
2. まあまあ関心がある
3. どちらともいえない
4. あまり関心がない
5. まったく関心がない
6. そもそも聞いたことがない

問5 あなたは、カーボンニュートラルの実現に向け、一人ひとりが二酸化炭素などの排出を減らす省エネ等の取組みについて、どのようにお考えですか。

次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. 積極的に取り組みたい
2. ある程度取り組みたい
3. あまり取り組みたくない
4. 全く取り組みたくない

問5-1 問5で「1. 積極的に取り組みたい」、「2. ある程度取り組みたい」と回答した方にお尋ねします。

あなたは、省エネ等に関する取り組みについて、現在既に取り組んでいること、または今後、新たに取り組みでみたいと思うことはありますか。

次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 軽装や重ね着などにより、冷暖房の設定温度を適切に管理
2. こまめな消灯、家電のコンセントを抜くなどによる電気消費量の削減
3. 冷蔵庫、エアコン、照明器具などの家電製品を購入する際に、省エネルギー効果の高い製品を購入
4. 宅配便の1回での受取り又は宅配ボックスでの受取りなどによる再配達の防止
5. 部屋の温度を快適に保つ高断熱などの省エネ住宅への居住、又はリフォームの施工
6. 太陽光発電パネルの設置による自家発電、又は自宅の電気を再生可能エネルギーに切替え
7. 移動時に徒歩・自転車・公共交通機関の利用
8. 電気自動車などのエコカーの選択やゆっくり加速・減速などのエコドライブの実践
9. 地球温暖化への対策に取り組む企業の商品の購入やサービスの利用
10. 地球温暖化への対策に取り組む団体・個人への応援・支援
11. その他（具体的に )

問5-2 問5で「3. あまり取り組みたくない」、「4. 全く取り組みたくない」と回答した方にお尋ねします。

あなたが、省エネ等に取り組みにくい理由について、次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 経済的なコストが掛かるから
2. 手間が掛かるから
3. どのような基準で選択し、どのように取り組めばよいか情報が不足しているから
4. 日常生活の中で常に意識して行動するのが難しいから
5. 地球温暖化への対策としてどれだけ効果があるのかわからないから
6. 地球温暖化への対策のための取り組みを行う必要性を感じないから
7. その他（具体的に )
8. 特にない

## <少子化対策について>

本県の出生数は、昭和47年の18,975人をピークに減少し、平成13年には1万人を割り込み、平成23年には8千人を切り、近年では10年ごとに約2,000人ずつ減少し、令和3年には6,076人と過去最少となりました。また、出生数と関係が深い婚姻件数も3,548組と過去最少となりました。国・県を挙げて、少子化対策に取り組んでいますが、少子化の進行に歯止めがかかっていない状況です。

問6 あなたは、こうした少子化の進行に対し、将来に危機感を感じますか。  
次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. 大変危機感を感じている
2. 多少危機感を感じている
3. どちらともいえない
4. あまり危機感を感じていない
5. 全く危機感を感じていない
6. わからない

問7 少子化の進行は、社会保障制度の持続可能性や労働力不足による経済成長の減速、地域コミュニティの縮小などの影響を社会にもたらすと考えられますが、あなたは、行政が、結婚・出産・少子化対策に取り組むうえで、どのような施策を拡充すべきと考えますか。  
次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 若い世代へのライフプラン教育の充実（妊娠に適した年齢の周知等）
2. 若い世代の雇用や収入の安定化のための施策
3. 若い女性の転出超過を是正する施策（若い女性が暮らしやすいまちづくりや仕事づくり）
4. 結婚支援（出会いの機会の創出等）
5. 新婚夫婦への経済的支援（結婚祝い金の支給、新居の家賃・引越費用・家具家電購入費の補助等）
6. 妊娠・出産に対する経済的支援（出産祝い金の支給、妊産婦及び乳幼児に係る医療費の軽減等）
7. 不妊や不育症に関する相談窓口の整備や治療費助成制度の充実
8. 仕事と生活の調和がとれる働き方の見直し（育児休業の取得促進や長時間労働の是正等）
9. 保育料・教育費等の支援、軽減
10. 在宅育児への支援（ヘルパー派遣費用の補助、孤立防止対策等）
11. 子どもの預け場所・居場所の整備（保育サービスや放課後児童クラブ等）
12. 乳幼児連れでも外出しやすい環境づくり
13. 多子世帯（子ども3人以上）に着目した子育て支援
14. 子育てに役立つ情報の充実（アプリ、サイトなど）
15. 結婚・出産・子育てにあたたかい社会づくり（気運の醸成）
16. その他（ ）

<女性活躍の推進について>

本県の女性の就業をめぐる状況を最新データから見ると、就業率（15～64歳）は全国3位、平均勤続年数は5位、正社員割合は3位といずれも全国トップクラスですが、一方で、女性の管理職比率は全国44位と、低い水準にとどまっています。

問8 あなたは、職場において男女の地位は平等になっていると思いますか。  
次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. 男性の方が非常に優遇されている
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている
3. 平等
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が非常に優遇されている
6. わからない

## <自転車の活用について>

自転車は、子どもから高齢者まで幅広い世代が利用できる、環境にも優しい身近な交通手段です。その活用は健康づくり、観光振興や地域活性化にも繋がるものであり、近年、自転車を活用した取組みへの関心が高まっています。

県では、県民の皆さんに積極的に自転車を活用していただけるよう、平成31年3月に「富山県自転車活用推進条例」を制定するとともに「富山県自転車活用推進計画」を策定し（令和4年3月一部改定）、自転車にやさしい都市環境の形成や安全安心な自転車社会の実現などを目指し、自転車の活用推進に取り組んでいます。

自転車の活用に関して、以下の質問にお答えください。

問9 あなたは、普段自転車を利用していますか。

1. はい
2. いいえ

問9-1 問9で「1. はい」と回答した方にお尋ねします。あなたは、どのような理由で自転車を利用していますか。

次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 手軽に使える、早く移動できる
2. ガソリン代や電車代がかからない
3. 健康に良い、運動不足解消
4. 環境にやさしい
5. クルマの渋滞や、満員電車などのストレスがない
6. 走っていて気持ちが良い、ストレス解消
7. かっこいい、おしゃれ
8. 利用に適した公共交通機関がないため
9. 移動時の「3密」を避け、新型コロナウイルス感染を防止するため
10. サイクリングコースが整備されているから
11. その他（具体的に )

<富山空港の名称について>

問10 「富山きときと空港」の名称は、県民に愛着を持っていただき、親しみをもって利用していただくため、公募にて平成24年11月に決定しました。  
あなたは、「富山きときと空港」の名称について満足していますか。  
次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不満である
5. 不満である

問11 空港の利用促進を図るうえで「富山きときと空港」の名称を見直してはどうかとの意見がありますが、あなたは見直すべきと思いますか。  
次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問12 「富山きときと空港」の名称を見直すとした場合、どの方法が良いと思いますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. 「富山空港」のみでよい（別の名称はいらない）
2. 有識者等の意見を聞いて決めればよい
3. その他（ ）



## <リカレント教育の取組みについて>

問13 現在、お勤めですか。

1. 勤めている（フェースシートのF3 本人職業の1～8に該当）
2. 現在、職についていないが、就職（再就職を含む）を目指して準備中
3. いずれにも該当しない

問13-1 問13で「1. 勤めている」「2. 現在、職についていないが、就職（再就職を含む）を目指して準備中」と回答した方にお尋ねします。あなたはリカレント教育※（社会人の学び直し）として、現在、何か取り組んでいますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 関係する本、雑誌、インターネットのホームページ等により、情報収集や学習をしている。
2. 講習会、研修会等に参加して、情報収集や学習をしている。
3. 大学、専門学校、職業訓練機関等に通って学習している。
4. 通信教育やインターネットの学習サービスにより学習している。
5. 会社の同僚や友人、知人と勉強会を開催し、情報収集や学習をしている。
6. その他（）
7. 何もしていない。

※リカレント教育（社会人の学び直し）とは人生100年時代やIoT、AIなど第四次産業革命による急速な技術革新の進展等を見据え、社会人が職業能力（技術・知識）の向上を図り、キャリアアップ（昇進・昇格、正社員登用等）、キャリアチェンジ（転職）や起業、現在従事している仕事の改革・改善、定年後の就職など、人生の様々なステージで活躍できるようにする学び直しのこと。（いわゆる生涯学習とは違うもの。）

半分を超えました！もう少しです！



<体力づくりについて>

問 14 あなたがこの1年間に行った運動やスポーツの回数は、どの程度になりますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. ほとんど毎日（週4回以上）
2. 週に2～3回程度
3. 週に1回程度
4. 月に1～3回程度
5. 年に2～3回程度
6. 全くしなかった

問 15 あなたは1年前に比べて運動・スポーツを実施する頻度は増えましたか、減りましたか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. 増えた
2. 変わらない
3. 減った

問 15-1 問 15 で「2. 変わらない」「3. 減った」と回答した方にお尋ねします。  
あなたが1年前と比べて運動・スポーツを実施する頻度が減った、または変わらなかった理由をすべて選んでください。

1. 仕事や家事・育児が忙しい
2. 病気やけがをしている・歳をとった
3. 身近に場所や施設がない
4. 指導者や仲間がない
5. お金に余裕がない
6. 運動・スポーツが嫌い・面倒くさい
7. 運動・スポーツよりやりたいことがある
8. コロナウイルス感染拡大の影響（感染不安、イベント等の中止など）
9. 十分に運動・スポーツを実施している
10. 特に理由はない

## <障害者差別について>

県では、身体障害や知的障害、精神障害などの障害のある人への差別をなくし、障害の有無によって分け隔てられることのない社会づくりを目指して、平成28年4月に「障害のある人の人権を尊重し県民皆が共にいきいきと輝く富山県づくり条例」を施行しました。この条例は、障害のある人に対する差別として、「不利益な取扱いをすること」と「合理的な配慮※をしないこと」を禁止しています。障害のある人に対する差別に関して、以下の質問にお答えください。

※合理的な配慮とは障害のある人から依頼があったときに、できる範囲で必要な配慮を行うこと。  
(例)・段差がある場合に車いすのキャスター上げ等の補助をしたり、エレベーターで車いす使用者を優先したりする。  
・聴覚障害や視覚障害など障害の状態に応じて、筆談、手話、読み上げ、点字、拡大文字など、相手に合わせたコミュニケーション手段を用いる。

問16 あなたは、日頃、生活の様々な場面において、障害がある人に対する差別があると思いますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. あると思う
2. 少しはあると思う
3. ないと思う
4. わからない

問16-1 問16で「1. あると思う」、「2. 少しはあると思う」を回答した方にお尋ねします。あなたは、5年前と比べて障害のある人に対する差別は改善されたと思いますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. かなり改善されている
2. ある程度改善されている
3. あまり改善されていない
4. ほとんど改善されていない
5. どちらともいえない
6. わからない

問16-2 問16で「1. あると思う」、「2. 少しはあると思う」と回答した方にお尋ねします。差別をなくすためには、特にどのような取組みが必要だと思いますか。次の中から当てはまるものを3つ以内で選んでください。

1. 行政や相談機関等による障害や差別に関する情報の提供
2. 障害者団体等による情報発信
3. 障害者福祉施設等による地域交流活動
4. 企業や地域等での障害者への理解を深める研修等の実施
5. 学校での障害者への理解を深める教育の実施
6. 障害者が働きやすい環境づくり
7. 障害者が建物や施設等を利用しやすい環境づくり
8. 障害者が交通機関等を利用しやすい環境づくり
9. 啓発イベントやキャンペーン等による周知
10. その他 ( )

＜病院や診療所の運営や対応に対する要望について＞

問17 あなた、または家族がかかっている病院や診療所（医院、歯科医院）の運営や対応に対して何を望みますか。次の中から当てはまるものを3つ以内で選んでください。

1. 病気や治療・検査方法、薬の処方に関する医師、歯科医師等からの詳しい説明を受けるインフォームド・コンセント<sup>※1</sup>の推進
2. 診断や治療方法について主治医以外の意見を聞くセカンド・オピニオン<sup>※2</sup>の推進
3. 病状に応じた他の病院や診療所（医院、歯科医院）への紹介
4. 医師、歯科医師の親切な対応
5. 看護師等の親切な対応
6. 待ち時間の短縮
7. 診療時間帯の拡大
8. 往診
9. 1回あたりの診察時間の十分な確保
10. 診療記録（カルテなど）の開示
11. 医療事故の防止対策
12. 院内感染の防止対策
13. 医療費に関する説明
14. その他（ ）
15. 特にない

※1 インフォームド・コンセント

医療の提供に当たり、疾病の状況、治療目的、治療内容、処置に内在する危険性、別の治療法の可能性、経費などについて、医師等が、患者が理解できるような十分な説明を行い、患者の同意のもとに治療を行なうこと。

※2 セカンド・オピニオン

診断や治療方法について主治医以外の意見を聞くこと。セカンド・オピニオンを希望する患者を受け入れ、又は患者に対して適切な医師を紹介すること。

問18 地域の医療サービスを向上させるため、あなたが行政に望む取り組みはなんですか。次の中から当てはまるものを3つ以内で選んでください。

1. 医療従事者の確保
2. 医療従事者の資質の向上
3. かかりつけ医の確保
4. 地域の中核となる高度医療を行う病院の整備
5. 救急医療体制の充実・強化
6. リハビリテーション医療の充実
7. 産科医療の充実
8. 新生児医療の充実
9. 女性専門外来（女性の医師が女性の患者を診療）の整備
10. がん対策の充実
11. 緩和ケア病棟（ホスピス）の整備
12. 高齢者に対する医療の充実
13. 認知症高齢者に対する医療の充実
14. 訪問診療、訪問看護などによる在宅医療の充実
15. 和漢診療（東洋医学）の充実
16. 医療相談、健康相談などの充実
17. 病院、診療所（医院、歯科医院）に関する情報の提供
18. その他（    ）
19. 特にない



### <食品ロスの削減について>

食品ロス削減は、国連のSDGs(持続可能な開発目標)で「2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人あたりの食料の廃棄を半減する」という目標が設定されており、世界的な課題となっています。県では、令和2年4月に策定した「富山県食品ロス削減推進計画」に基づき、食品ロス・食品廃棄物の削減に取り組む県民総参加の運動を展開しています。

食品ロスに関して、以下の質問にお答えください。

問19 あなたは、「食品ロス※」が問題となっていることを知っていましたか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. よく知っていた
2. ある程度知っていた
3. あまり知らなかった
4. ほとんど・全く知らなかった

※「食品ロス」とは、食べ残しや賞味期限切れの食品など、本来食べられる部分が捨てられたものです。また、「食品廃棄物」とは、食品ロスに加え、魚の骨や野菜の皮、調理油など、通常は食べられない部分も含んだものです。

日本では年間約2,372万トンの食品廃棄物等が排出されており、そのうち食品ロスは、年間約522万トンと試算(本県では食品廃棄物は年間約17.0万トン、うち食品ロスは4.3万トンと試算)され、資源・環境等の観点から大きな問題となっています。

問20 「食品ロス」の軽減につながる以下の工夫の中で、あなたが取り組んでいることはありますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等、食べきれる量を購入する
2. すぐに食べるものは、消費期限※<sup>1</sup>・賞味期限※<sup>1</sup>の近いものから購入する
3. 商慣習の見直し(納品期限の緩和)を先行して進めている「飲料及び賞味期間180日以上菓子」について賞味期限の近いものから購入する
4. 店舗でのある程度の欠品を許容する
5. 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する
6. 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する
7. 宴会等の食べ残しを減らすため、宴会の開始後30分と終了前15分に食事を楽しむ時間を設定する「3015運動※<sup>2</sup>」を実践する
8. 飲食店等で注文し過ぎない
9. 残さず食べる
10. フードドライブ※<sup>3</sup>に協力する
11. その他(具体的に: )
12. 取り組んでいることはない

※1「消費期限」は、開封していない状態で、表示されている保存方法に従って保存したときに、表示の年月日まで、安全に食べられる期限のことで、この期限を過ぎたら食べないほうが良いとされています。

「賞味期限」は、開封していない状態で、表示されている保存方法に従って保存したときに、おいしく食べることができる期限のことで、この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるということではありません。

※2「3015（さんまるいちご）運動」とは、立山の標高3015mにちなみ、「30」と「15」をキーワードにした富山型の食品ロス削減運動です。

〔食べきり3015運動〕：宴会時において、開宴後30分と終了前15分に自席で料理を楽しむ時間を設定し、食べきる運動です。

〔使いきり3015運動〕：毎月30日と15日に家庭の冷蔵庫等をチェックし、食材を使いきる運動です。

※3「フードドライブ」とは、家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている福祉団体やこども食堂などに寄付する活動です。

食品ロス削減と同様、国連のSDGs（持続可能な開発目標）で12番目の目標「つくる責任 つかう責任」という目標に関連し、人や社会、地域、環境に配慮した消費行動である「エシカル消費」への関心が高まっています。

問21 以下の選択肢は、「エシカル消費」の一例です。あなたは、日頃の買物で以下のことを意識していますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

1. レジ袋をもらわない
2. 弁当・惣菜などを購入するときに不要なフォーク・スプーンをもらわない
3. 地元産品を購入して地産地消を実践する
4. 容器や包装の少ないものを選び、詰め替え用を購入して使っている
5. 社会貢献活動に熱心な企業のものを選ぶ
6. フェアトレード\*商品を選ぶ
7. 環境に配慮されたマークのある食品・商品を選ぶ
8. リサイクル素材でできた商品（再生紙等）を選ぶ
9. 服を買うときには、使わなくなった衣料の回収をしている企業のものを選ぶ
10. ほとんど・全く意識していない

※「フェアトレード」とは、開発途上国の原料や製品を、生産者の生活に配慮した公正な価格で継続的に買い取る取引のこと。

75%終了！もうひと踏ん張り！



<犯罪の予防について>

問 22 あなたは、自分や家族が、犯罪の被害に遭うのではないかと不安を感じる  
ことがありますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

1. よくある
2. たまにある
3. ほとんどない
4. まったくない

問 22-1 問 22 で「1. よくある」「2. たまにある」と回答した方にお聞きしま  
す。どのような犯罪に不安を感じますか。次の中から当てはまるものを5つ以  
内で選んでください。

1. 殺人、強盗、放火等の凶悪な犯罪
2. 暴行、傷害等の粗暴な犯罪
3. 通り魔的犯罪
4. 空き巣等の住宅に侵入して物を盗む犯罪
5. 自転車を盗む犯罪、自動車内から物を盗む犯罪、落書き等の街頭での  
犯罪
6. 不審な声掛けやつきまとい事案
7. 強制わいせつ、痴漢事案
8. ストーカー、DV事案
9. 振り込め詐欺をはじめとした特殊詐欺
10. 偽造クレジットカード等を利用したカード犯罪
11. ヤミ金融、悪質訪問販売業者等による悪質商法事案
12. インターネット（パソコン、スマートフォン）を利用したワンクリック詐  
欺やオークション詐欺等
13. インターネットを利用した（SNS等を介した）児童買春やリベンジ  
ポルノ等の性的犯罪
14. その他インターネットを利用した犯罪
15. 麻薬、覚せい剤、危険ドラッグ等の薬物犯罪
16. 拳銃を使用した犯罪
17. ごみの不法投棄等の環境犯罪
18. 人が集まる場所やイベントでのテロ等の無差別殺傷事案
19. 子供に対する犯罪
20. 女性に対する犯罪
21. 高齢者に対する犯罪
22. 暴走族等若者による暴走行為
23. 暴力団による組織犯罪
24. 外国人による犯罪
25. 少年による犯罪
26. その他( )

【最後に、あなたの意識についてお聞きします】



問23 次の設問について、あなたが普段どのように感じられたり、どのように思ったりされているかお聞かせください。

(1) あなたは、富山県は住みよい県だと思いますか。次の中から1つ選んでください。

1. 非常に住みよい
2. まあまあ住みよい
3. やや住みにくい
4. 住みにくい

(2) これからも富山県に住みたいと思われませんか。次の中から1つ選んでください。(通学、転勤等により県外に転出される予定がある方についても、ご自身の意識としてお答えください。)

1. これからも富山県に住みたいと思う
2. 県外に転出したいと思う
3. わからない

(3) あなたは、仕事に充実感(満足感)を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

1. 非常に充実している
2. まあまあ充実している
3. どちらともいえない
4. あまり充実していない
5. まったく充実していない
6. 仕事をしていない

(4) あなたは「富山県」に対して、どの程度愛着を感じていますか。次の中から1つ選んでください。

1. とても愛着がある
2. やや愛着がある
3. どちらでもない
4. あまり愛着がない
5. まったく愛着がない



(5) あなたは富山県のどのような点を誇りに思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

1. 海・山・川・湖などの自然が豊かなこと
2. 誇れる温泉やレジャー施設・公園などがあること
3. スポーツの参加・観戦が楽しめること
4. 伝統芸能、祭り、イベントがあること
5. 誇れる街並みや歴史建造物があること
6. 歴史人物、著名人、職人などにゆかりがあること
7. 誇れる美術館・博物館があること
8. 土産や地域産品があること
9. 優れた伝統技術があること
10. 誇れる商店街や店舗があること
11. 地元産の食材が豊富なこと
12. 食事がおいしいこと
13. 道路や交通の便が良いこと
14. 誇れる宿泊施設があること
15. 人のよさや優しさ、おもてなしがよいこと
16. 地域を代表する産業や企業があること
17. 教育（教育機関・博物館等）が充実していること
18. 子育てがしやすい環境なこと
19. 医療や福祉が充実していること
20. 行政サービスが充実していること
21. 災害が少ない、治安や防災がしっかりしていること
22. 財政が健全であること
23. メディアでよく取り上げられること
24. 他都道府県民からうらやましく思われること

(6) 県内には、自然、歴史、文化、特産品など多くの魅力や地域資源がありますが、県外の知人、友人等に自信をもって紹介したり、奨めたりできるものがありますか。次の中から1つ選んでください。

1. たくさんある
2. 少しはある
3. ない

あと1ページです！



(7) あなたは、県内において、音楽や演劇、美術など芸術文化に親しむ機会が充足されていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

1. 十分に充足されている
2. ある程度充足されている
3. あまり充足されていない
4. まったく充足されていない
5. わからない

(8) 最近の家庭は、しつけや望ましい生活習慣づくりなど、子どもの教育において、役割を果たしていると思いますか。次の中から1つ選んでください。

1. 十分に果たしている
2. ある程度果たしている
3. あまり果たしていない
4. まったく果たしていない
5. わからない

(9) あなたは、過去1年間に、生涯学習<sup>※</sup>を行ったことがありますか。次の中から1つ選んでください。

1. ある
2. ない

※ 生涯学習とは、生涯のいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことで、学校教育や公民館における社会教育などの学習機会に限らず、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、趣味、ボランティア活動などにおけるさまざまな学習活動のことをいいます。

(10) あなたが住んでいる地域の活動に参加していますか。次の中から1つ選んでください。

1. 積極的に参加している
2. ときどき参加している
3. 参加していないが、今後は参加したい
4. 参加していないし、今後も参加したくない

※ 調査は以上で終了です。

ご協力ありがとうございました。

